

子育て支援における母親クラブと児童館の役割に関する研究(2) —母親クラブの活動成果・リーダー行動と児童館との連携—

母子保健研究部	齊藤 進
研究企画・情報部	小山 修・中村 敬
嘱託研究員	山口 忍（順天堂大学医療看護学部） 臺 有桂（東京大学大学院医学系研究科） 森川 洋（東海女子短期大学）
NPO 法人ハンズ・オン	西川 正
北区赤羽児童館	鈴木 敬子
ASAKA いくじネットワーク	田所 裕子
佐倉市教育委員会	牛玖 幸一
習志野市保健師	大久保 美恵

要 約

母親クラブの活性化要因を析出するために、母親クラブの活動実態および児童館との連携、児童館の支援実態について明らかにすることを目的に、「活動成果指標尺度」および「地域組織活動のリーダー行動尺度」を用いた母親クラブのメンバー対象調査と児童館対象の調査を行い、活動実態と両尺度の得点の比較ならびに児童館の母親クラブ支援の可能性を探った。その結果から、母親クラブの活動成果が認められ、活動は地域づくりに寄与しているが、今後の課題として活動内容の再検討が必要であること。次いで、リーダーの民主的な行動と活動の楽しさ、地域住民の認知度等に関連みられることから、リーダーの研修が重要であることが明らかとなった。また、今後の活性化には、児童館の支援が期待できるが、支援技術や体制が不十分であることから、研修の重要性が示唆された。

キーワード： 地域組織 母親クラブ 活動成果指標 リーダー行動 児童館

Role of Mothers' Clubs and Children's Centers in Child-raising Assistance (2)

—Results of Mothers' Clubs Activities / Collaboration with Leader Activities and Children's Centers—

Susumu SAITO, Osamu OYAMA, Takashi NAKAMURA, Shinobu YAMAGUCHI

Yuka DAI, Hiroshi MORIKAWA, Tadashi NISHIKAWA,

Keiko SUZUKI, Yuko TADOKORO, Koichi USHIKU, Mie OKUBO

Abstract : In order to identify activity factors for mothers' clubs, to reveal the activities of mothers' clubs, collaboration with children's centers and support of children's centers, a members of mothers' clubs and children's centers were surveyed using the "Activity Evaluation Indicators" and "Activity Community Organization Leader Activity Scale" to compare the state of activity and scores of both scales, and to investigate how children's clubs might support mothers' clubs. The results showed an activity benefit for mothers' clubs, and that activity contributed to community-building. For the future, however, reconsideration of the details of activities will be required. Next, the relationship between leader civic behaviors and activities and awareness of the community revealed the importance of leader training. The support of children's centers is also expected to be important in fostering future activity, but the poor state of readiness of support technologies and systems suggests the importance of training.

Keywords : Community Organizations, Mother's Clubs, Activity Evaluation Indicators, Leader Activities, Children's Centers

I. 目的

会員の多くが子育て経験者で構成されている母親クラブの活動は、子育て支援の貴重な資源である。平成15、16年には「母親クラブにおける地域の子育て支援モデル事業」(厚生労働省)が実施されるなど、母親クラブの役割や活動が期待されている。そこで、母親クラブの活動の一層の活性化を図るために、活動成果指標とリーダー行動の実態を明らかにするとともに、児童館との連携についてあわせて検討し、今後の活性化要因を明らかにすることを目的とした。

II. 方法

1. 調査方法

研究は、活動実態を把握する尺度を用いた「母親クラブの活動についてのアンケート」(以下メンバー調査)と児童館との関係を検討するための「児童館と母親クラブに関する調査」(以下、児童館調査)を実施した。

メンバー調査は、活動実態を明らかにする方法として、活動の評価尺度として筆者らが開発した「活動成果指標尺度」¹⁾と「地域組織活動のリーダー行動尺度」(以下、S0式LSHP)²⁾³⁾⁴⁾を使用した調査票を作成し、母親クラブ会員を対象に調査を実施した。調査方法は、全国地域活動連絡協議会(母親クラブの全国協議会)主催の東海・近畿・北陸ブロック研修会(平成19年10月4日～5日石川県金沢市で開催、1日目233名、2日目131名参加)と全国大会(平成19年10月25日～26日歌山県白浜町で開催、1日目320名、2日目180名延べ500名)において、参加者へ資料と共に配布・依頼し、記入後、閉会時に回収した。調査内容は、属性(性、年齢、仕事、子ども数、活動経験年数、入会動機、組織内地位)、活動成果指標尺度(27項目)、期待するリーダー行動(S0式LSHPの25項目)、活動状況(活動参加頻度、研修参加、情報、楽しさ、雰囲気、住民の認知度)である。二つの尺度の内容については、別表に示した。

児童館調査は、(財)児童健全育成推進財団のホームページ(じどうかんNET)に掲載されている児童館(大型を除く4,772施設)のうち、母親クラブが活動する道県の児童館から、二分の一を系統抽出した1,259ヶ所を対象とした。調査票を用いた郵送調査で、内容は、児童館属性(市区町村区分、開設年、設置主体、運営主体、児童厚生員数等)、児童館機能の業務割合、地域にある地域組織とその関係、母親クラブ支援の状況、今後の地域組織支援の方針、研修会参加意向等である。

2. 分析方法

メンバー調査は、単純集計後、少数の男性を除いた女性のみデータをを用いて活動成果指標尺度とS0式LSHPの点数を算出した。この点数は、下位尺度ごとに「はい」または「そう思う」の回答数をその得点として算出した。

この得点について、属性(組織内地位、年齢、仕事の有無、子ども数)と活動状況(活動参加状況、研修会参加状況、活動の情報伝達、活動の楽しさ、会議時の雰囲気、地域住民の認知度)についての関係を知るために、t検定、一元配置分散分析により平均値の差を検定した。一元配置分散分析後の多重比較は、Scheffe(等分散の場合)とTamhane(不等分散の場合)の方法を用いた。合成尺度としての信頼性は、全体と下位尺度ごとにCronbachの α 係数を算出した。他の地域組織との尺度得点の比較⁵⁾は、t検定を行った。

児童館調査について、単純集計の他、地域組織の有無、母親クラブ支援で困ったこと、地域組織支援の今後の意向については、設置・運営主体別にクロス集計し、独立性(χ^2 自乗検定)を検討した。また、母親クラブの有無別地域組織支援の今後の意向について、比率の差は χ^2 自乗検定を用いた。設置・運営主体別児童館の機能についての業務割合については、一元配置分散分析により検定した。

統計ソフトは、他の地域組織との尺度得点の比較はHLUBAU7を、他はSPSS Ver11.0を使用した。

3. 倫理的配慮

調査にあたって、本調査は無記名式で学術資料として扱われること、調査目的、調査結果の公表方法を調査票に明記し、個人情報等の保護について配慮している旨を示して依頼した。また、特に個人を対象としたメンバー調査については、日本子ども家庭総合研究所・研究倫理委員会の承認を受けた。

III. 結果

1. メンバー調査

有効回収数は211件で、東海・近畿・北陸ブロック研修(延べ364名参加)、全国大会(延べ500名参加)の延べ参加者数から計算した有効回収率は24.4%であった。

① 単純集計

回答者は、東海・近畿・北陸ブロック研修(50.7%)と全国大会参加者(49.3%)がほぼ同比率で、女性(92.4%)がほとんどを占めた。仕事の有無では、「仕事をしている」(64.0%)が高かった(表1、2、3)。年齢は、「40～44歳」(18.0%)がもっとも高く。次いで「50～54歳」(16.1%)、「35～39歳」(14.2%)、「55～59歳」(13.3%)の順であった(表4)。子ども数は、「2人」(41.7%)が高く、次いで「3人」(31.3%)の順であった(表5)。

経験年数は、「3年未満」(18.0%)と「5～10年未満」(18.0%)が高く、次いで「20～30年未満」(16.6%)、「15～20年未満」(15.2%)の順で、合わせてみると10年未満と10年以上が半々であった(表6)。入会したきっかけは、「人からすすめられて」(43.1%)が高かった

(表7)。組織内地位は、「会長」(51.7%)が高く、半分を占め、「メンバー」(18.5%)は低かった(表8)。

活動の参加状況では、「ほとんど参加している」(69.7%)が高く、研修会の参加状況でも「参加している」(82.5%)がほとんどを占めた(表9、10)。

活動の情報伝達の状況では「情報は伝わってくる」(65.9%)が高く、活動(事業・会議)の楽しさでは「楽しい」(47.4%)が高かった(表11、12)。会議で発言できる雰囲気の有無では「なっている」(60.7%)が高く、地域住民に活動が知られているか(活動認知度)については「少し知られている」(48.3%)が高かった(表13、14)。

活動成果指標尺度を用いた調査では、「人とのつながり」平均4.46(SD1.00)、「地域社会への貢献」平均4.01(SD1.24)が高得点で、以下「健康行動」平均3.24(SD1.44)、「専門職・行政との関係」平均1.95(SD1.05)、「運営の活性化」平均1.91(SD1.08)の順となっていた(表15~19)。

期待するリーダー行動の得点では、「フィードバック(PF)」平均4.49(SD0.89)、「民主的行動(DB)」平均4.30(SD1.09)、「トレーニングと指導(TI)」平均4.12(1.10)、「社会的援助(SS)」平均4.11(SD0.94)が高得点で、「権威的行動(AB)」平均1.66(SD1.00)は低かった(表20~24)。

② 女性のみ属性および活動実態(活動成果指標尺度および期待するリーダー行動に使用した水準)

活動成果指標尺度および期待するリーダー行動の分析には、少数の男性データを削除した女性のみデータを用い、また、一部カテゴリを統合して使用した。

まず、組織内地位は「会長」(57.2%)が6割弱、「役員」(25.0%)、「会員」(17.8%)の順であった(表25)。年齢は、「40歳代」(30.6%)、「50歳代」(30.1%)「40歳未満」(25.4%)「60歳以上」(14.0%)の順で、「仕事あり」(66.7%)が高く、子ども数では、「2人」(45.3%)が高く、次いで「3人」(33.2%)の順であった(表26、27、28)。活動参加状況は、「ほとんど参加」(73.8%)が高く、研修会参加状況では「参加している」(93.3%)がほとんどであった(表29、30)。活動の情報が伝達の状況では「情報伝達群」(70.7%)が高く、活動の楽しさでは「楽しい群」(49.5%)と「非楽しい群」(50.5%)がほぼ同比率であった(表31、32)。会議時に発言できる雰囲気の有無では「発言雰囲気あり群」(66.5%)が高く、地域住民の認知度では「少し知られている」(51.3%)が高かった(表33、34)。

③ 活動成果指標尺度

女性のみ活動成果尺度の得点については、「人とのつながり」平均4.46(SD1.02) α 係数0.73、「地域社会への貢献」平均3.99(SD1.26) α 係数0.74、「運営の活性化」平均1.87(SD1.03) α 係数0.53、「健康行動」平均3.25(SD1.42) α 係数0.80、「専門職・行政との関係」

平均1.91(SD1.00) α 係数0.60で、全体の α 係数は0.81であった(表35)。「人とのつながり」「地域社会への貢献」「健康行動」については若干 α 係数が低い尺度得点として使用可能であった。

「人とのつながり」では、年齢($p < .05$)、活動参加状況($p < .001$)、研修会参加状況($p < .01$)、活動の情報伝達($p < .05$)、活動の楽しさ($p < .01$)、会議時の雰囲気($p < .05$)、地域住民の認知度($p < .01$)に有意な差がみられた(表37、39)。

「地域社会への貢献」では、年齢($p < .001$)、活動参加状況($p < .001$)、研修会参加状況($p < .01$)、活動の情報伝達($p < .001$)、活動の楽しさ($p < .001$)、会議時の雰囲気($p < .01$)、地域住民の認知度($p < .001$)に有意な差がみられた(表37、39)。「健康行動」では、活動の楽しさ($p < .05$)に有意な差がみられた(表37、39)。

④ 期待するリーダー行動得点

期待するリーダー行動の得点では、「トレーニングと指導(TI)」平均4.13(1.11) α 係数0.64、「民主的行動(DB)」平均4.30(SD1.09) α 係数0.58、「権威的行動(AB)」平均1.60(SD0.90) α 係数0.56、「社会的援助(SS)」平均4.10(SD0.93) α 係数0.40、「フィードバック(PF)」平均4.51(SD0.87) α 係数0.53、全体の α 係数0.75であった(表36)。

信頼性は低くかったが、「トレーニングと指導(TI)」では活動の楽しさ($p < .01$)、会議時の雰囲気($p < .01$)に、「民主的行動(DB)」では組織内地位($p < .01$)、年齢($p < .05$)、活動参加状況($p < .01$)、研修会参加状況($p < .05$)、活動の情報伝達($p < .01$)、活動の楽しさ($p < .01$)、会議時の雰囲気($p < .05$)、地域住民の認知度($p < .01$)に有意な差がみられた。

「社会的援助(SS)」では年齢($p < .05$)、活動の楽しさ($p < .05$)、地域住民の認知度($p < .001$)に有意な差がみられた。

「フィードバック(PF)」では子ども数($p < .05$)、地域住民の認知度($p < .05$)に有意な差がみられた(表38、39)。

⑤ 他の地域組織との比較

他の地域組織(愛育班)との比較⁵⁾では、活動成果指標尺度では、「地域社会への貢献」($p < .001$)と「運営の活性化」($p < .001$)、「専門職・行政との関係」($p < .001$)が有意に高くなっていた(表40)。

期待するリーダー行動では、「トレーニングと指導(TI)」($p < .001$)と「民主的行動(DB)」($p < .001$)、「権威的行動(AB)」($p < .001$)、「社会的援助(SS)」($p < .001$)が有意に高くなっていた(表41)。

2. 児童館調査

有効回収率は28.1%で、各道県の児童館数とサンプル数、回収状況を表42に示した。

① 単純集計

回答した児童館は一般市(51.4%)が半数を占め、「市区町村」(92.1%)の設置がほとんどで、運営主体は「市区町村」(66.9%)が高く、指定管理者制度が導入されている児童館は30.5%であった(表43、48、49、50)。児童館の総職員数は、「3人」(25.4%)、「4人」(18.4%)、「1~2人」(17.2%)の順で、管轄地域は「小学校区」(60.5%)が高かった(表54、59)。

児童館の業務割合について見ると、『児童の集団及び個別指導を行うこと』では「40~60%未満」(23.2%)、「80~100%未満」(22.0%)、「60~80%未満」(20.1%)の順で、あわせて6割以上占めていた(表60)。『地域組織活動の育成助長及びその指導者の養成を図ること』では「20%未満」(38.7%)が、『子育て家庭の支援を行うこと』では「20%未満」(41.5%)が、『その他、地域の児童の健全育成に必要な活動を行うこと』では「20%未満」(46.9%)が最も高く、『児童の集団及び個別指導を行うこと』以外の業務の比率は低かった(表61、62、63)。また「放課後児童クラブ」は約半数(51.1%)で実施されていた(表64)。

地域組織の活動状況を見ると、「母親クラブ」(61.6%)と「子ども会」(68.4%)、「子育てグループ」(60.7%)は6割以上であったが、「子育てネットワーク」(39.3%)は低かった(表65、68、71、74)。

「母親クラブへの支援」(91.3%)はほとんどが行っており、事業の協働(82.1%)も高かった(表66、67)。その支援内容を見ると、「施設を貸している」(84.4%)が最も高く、以下「助言などのアドバイスをしている」(66.3%)、「イベント等の活動に協力している」(65.3%)、「コピーなどの便宜を図っている」(59.8%)、「会議に出席している」(58.8%)、「活動のPRをしている」(55.8%)、「情報提供をしている」(51.8%)、「事務局を担っている」(49.7%)の順で、「補助金などの資金援助をしている」(29.1%)、「研修を実施している」(18.6%)は低かった(表81)。

今後の母親クラブや子ども会等の地域組織の支援については、「積極的に支援する」(65.8%)が高かった(表83)。支援できない理由(自由記述)では、「組織なし」(9件)、「人手不足」(9件)、「支援必要なし」(6件)、「予算不足」(3件)、「スペース不足」(2件)、「担当部門ではない」(2件)、「地域の人材不足」(2件)、「会員不足」、「少子化」、「行政の制約」、「時間が無い」、「地域住民の無関心」、「地域との連携なし」、「理解不足」、「反応なし」等であった。

② クロス集計

設置・運営タイプ別に児童館機能および地域組織の有無、今後の地域組織の支援について検討した。

設置・運営タイプでは「公設公営」(67.0%)が高く、自治体区分別に見ると、公設・公営タイプは、「指定都市」(44.7%)、「中核市」(55.6%)、「一般市」(67.4%)、「村」(71.4%)、「町」(85.1%)の順で、市部に比べ町村部に

公設・公営タイプが高い傾向がみられた(表91)。

地域組織の有無について、母親クラブは「公設公営」(65.9%)が高く、子ども会、子育てネットワーク、子育てグループでは公設民営(84.3、56.0、73.8%)が高い傾向を示した(表92)。

今後の地域組織の支援について、積極的に支援すると回答した割合は、「公設民営」(74.7%)、「民設民営」(73.9%)、「公設公営」(64.9%)の順であった。

母親クラブの有無と今後の地域組織の支援では、「母親クラブあり」(83.4%)が有意に高かった($p < .001$) (表94)。

IV. 考察

1. 母親クラブの活動成果

活動成果指標尺度の得点は、「人とのつながり」や「地域社会への貢献」が高得点であったことから、母親クラブの活動は地域づくりに寄与していると考えられる。また、他の地域組織活動のひとつである「愛育班」のデータ⁵⁾と比較した結果、「地域社会への貢献」、「運営の活性化」、「専門職・行政との関係」において有意に高い得点を示していたことから、愛育班と同等以上に活動成果があると思われる。これは、調査回答者に会長や役員といったリーダー層が多いため、活動意識の高さ、専門職や行政との接触頻度などがメンバーに比べ高いために差が生じたと推察される。

活動実態と活動成果指標の得点では、「人とのつながり」と「地域社会への貢献」において、「活動参加状況」、「研修会参加状況」、「活動の情報伝達」、「活動の楽しさ」、「会議時の発言できる雰囲気」、「地域住民の母親クラブの認知度」のすべてにおいて、有意な差が確認されたことから、事業内容や情報伝達方法、会議の運営等の活動の質を高めることが活動成果を高くするといえる。従って、活動の楽しさや発言できる雰囲気など、日常活動の質を高め、情報をよく伝えていくことが重要である。事業や会議等の内容を再確認し、会員ニーズにあった事業を展開し、機関紙やインターネットを活用した情報伝達と情報発信を進めることが期待される。

「運営の活性化」についても、「活動の情報伝達」や「活動の楽しさ」が関係しており、また「健康行動」は「活動の楽しさ」と関係があることは明らかである。従って、活動の楽しさと情報伝達を中心とした活動内容の点検は、重要な課題であると考えられる。

2. 母親クラブリーダーへの期待

期待するリーダー行動の下位尺度は、 α 係数からみて尺度としての信頼性(内的整合性)は若干低い結果となっていた。本調査の回答者の約6割弱が「会長」である点等から、メンバーの期待するリーダー行動について考察することは難しいと考えられる。しかし、活動を左右

するリーダーの行動は、活性化における重要な点であり、あえて検討を加えてみた。

「愛育班」⁵⁾ との比較は、「フィードバック」を除く「トレーニングと指導」、「民主的行動」、「権威的行動」、「社会的援助」の4つで有意に高い得点となっており、得点のパターンは同傾向を示している。得点の差は、住民組織の分類⁶⁾⁷⁾ からみた地縁型の愛育班と自助型（ライフステージ型）の母親クラブの構造的な差によるものと考えられる。当事者が中心となって活動が展開される自助型の住民組織では、高いリーダー行動が求められている可能性を示唆しているとも考えられる。

活動実態との関係では、「民主的な行動」のすべてで有意な差が見られたことから、メンバーの意見をまとめ、相談して決定するといった民主的行動が、活動内容と深く関係している。また、活動が活性化するに従い、民主的な活動が期待されるとも考えられるので、リーダーの研修のあり方が重要となってくる。住民の母親クラブの認知度では、「民主的な行動」、信頼関係を作り相談にのるなどの行動である「社会的援助」、ほめることなどやる気を起こさせる行動である「フィードバック」に有意な差がでていることから、地域住民に知られている活動を展開しているかどうかリーダー行動全般と関係が深くなっている。従って、リーダー行動においては、「民主的な行動」と活動内容が関係していること、特に「活動の楽しさ」や「母親クラブの地域での認知度」は他のリーダー行動への期待も含めて関係が大きいので、活動やリーダー行動のアセスメントにあたって、ひとつの目安として注目すべきであると考えられる。リーダー研修では、この点も踏まえた研修会を企画する必要があると思われる。

3. 活動の活性化要因

① 活動のPR

活動成果指標と期待するリーダー行動は、活動の楽しさと地域住民の認知度と関係があることから、活性化要因を検討する場合、母親クラブ内部への活動と外部への活動の両方をあわせて考えていくことが重要である。昨年度の調査研究⁸⁾ で指摘したように、地域全体を対象とした活動を充実させる必要があると思われる。また、会員の不足や活動のPR不足が課題となっていたが、入会のきっかけの約4割は「人からすすめられて」と回答しており、直接入会を誘うなどの働きかけが大切であると思われる。つまり、「会員増は声かけ」から始めることが必要であろう。

情報伝達という点から、機関紙の発行なども有効と考えられる。地域にあった、オリジナル版の作成などがよく、地域へのPRに結びつき、認知度を上げる方法となると考えられる。

② 活動内容の見直し

活動（事業・会議）の楽しさについては5割弱が楽し

い、会議で発言できる雰囲気では6割がなっていると回答していた。すなわち4～5割は不満足であるともいえるので、活動内容や運営の見直しが必要と思われる。会員ニーズにあった活動や気軽に発言できる雰囲気づくりなど民主的な運営が望まれる。子育て支援の面からも、子育て当事者のニーズや参加しやすい環境づくりが必要である。

母親クラブの住民認知度が活動の成果という視点から考えると、メンバーと信頼関係をつくる「社会的援助」や誉め、やる気を起こさせる「フィードバック」のリーダー行動が活動成果に重要な役割を果たすので、会員の活動を評価し、誉めること、やる気を起こさせることが大切である。ひとつの方策としてハレの舞台的な場をつくり、そこへ参加させること、つまり大会や研修会、催し物などに出席、参加できる配慮が大切である。本調査で、研修会および全国大会への会員の参加者は2割程度であることから、研修会・大会への参加方法やあり方を工夫することが必要と思われる。

活動の楽しさ、発言できる会議の雰囲気、大会や研修への参加は、生涯学習のポイントといわれる居心地感、やる気と満足感、出番感⁹⁾ を形成する。従って、活動内容と運営を見直すことが重要で、新しい会員を受け入れる体制づくりともなるので、これらをテーマとした研修が必要であろう。

4. 児童館の母親クラブ支援

昨年度の母親クラブ全国調査⁸⁾ では、事務局を児童館に置いている母親クラブが5割弱、児童館との連携では4割が児童館関係者の助言を受けていると回答していた。本調査で、母親クラブがある児童館の9割は支援をしており、「事務局を担っている」が5割、運営や活動内容に関与する支援と考えられる「助言などのアドバイスをしている」が7割弱となっていた。これらから、児童館と母親クラブの関係は密であると推測されるので、児童館の支援体制を強化することで母親クラブ活動の活性化が図れると考えられる。支援にあたっての障害は、人員不足、施設のスペース不足、時間外の支援などの勤務関係の障害が挙げられており、支援体制の整備が必要と考えられる。

地域組織活動が低調な時期を乗り越え活動を展開していくためには、リーダーの行動とそれを支える専門職・行政の支援が重要であり¹⁰⁾¹¹⁾、母親クラブの活性化においても同様と考えられる。本調査で母親クラブ等地域組織を積極的に支援すると回答している児童館が7割弱あるので、母親クラブの支援は期待できると思われる。したがって、児童厚生員（児童館）が母親クラブへの支援方法や関わり方に関する技術を学び、修得する場が必要と思われる。

児童館の機能の業務割合をみると、「児童の集団及び個別指導を行うこと」の割合が高く、児童を対象にした事

業主体であることがわかる。「地域組織活動の育成助長及びその指導者の養成を図ること」の機能比率は低かったことと合わせて考えると、児童中心で地域組織への支援が少なく、あわせて子育て層へのアプローチは不慣れであると推測される。また、母親クラブの支援での障害については、会員の不足、役員のなり手がいないなど母親クラブの会長と同じ内容を挙げているなど共通した点もある。これらを考慮した地域組織支援等のスキルを学ぶことが必要である。

謝辞：調査にご協力くださった関係者の皆様に感謝します。

【文献】

- 1) 齊藤進他、地域組織活動の評価法に関する研究(3)、日本子ども家庭総合研究所紀要 第42集、2006、pp127-145
- 2) 島内憲夫、小山修、齊藤進、小野田薫、市村久美子、「母子保健のための地域組織活動の活性化と強化に関する研究—その3. 地域組織活動の強化法の開発—」、厚生省心身障害研究「高齢化社会を迎えるに当たっての母子保健事業策定に関する研究」平成3年度研究報告書（主任研究者 平山宗宏）、1992、pp. 449-486
- 3) 齊藤進、地域組織活動におけるリーダーシップに関する研究(1)、日本総合愛育研究所紀要 第33集、1997、pp290-293
- 4) 齊藤進、地域組織活動におけるリーダーシップに関する研究(2)、日本子ども家庭総合研究所紀要 第35集、1999、pp233-238
- 5) 齊藤進他、地域組織活動の活性化に関する一考察—愛育班活動のアセスメントの試み—、日本子ども家庭総合研究所紀要 第43集、2007、pp275-280
- 6) 小山修、PHCと日本の住民組織、松田正己・島内憲夫編「みんなのためのPHC入門」、垣内出版、1993、pp177-189
- 7) 齊藤進、「地域組織活動をどう強化・活性化させるか」、生活教育 45(8)、2001、pp27-31
- 8) 齊藤進他、子育て支援における母親クラブと児童館の役割に関する研究(1)、日本子ども家庭総合研究所紀要 第43集、2007、pp165-180
- 9) 佐々木英和、団塊世代に対する生涯学習・社会参加支援のヒント、社会教育、No. 729、2007、pp12-17
- 10) 島内憲夫、母子保健のための地域組織活動の活性化と強化に関する研究、厚生省心身障害研究「高齢化社会を迎えるに当たっての母子保健事業策定に関する研究」平成2年度研究報告書、1991、pp306-346
- 11) 齊藤進、地域組織活動におけるリーダーシップに関する研究(3)、日本子ども家庭総合研究所紀要 第36集、2000、pp189-194

別表A 活動成果指標尺度の項目

- 人とのつながり
 1. 親しくつきあえる友人ができた
 6. 進んで外に出るようになった
 11. 人とのつながりを大切にするようになった
 16. 人との出会いが楽しくなった
 21. お互い声をかけあうようになった
 26. 友人を活動に誘うようになった
- 地域社会への貢献
 2. 地域に溶け込めたと思うようになった
 7. 地域で活動のPRをするようになった
 12. 地域の人たちに感謝された
 17. 地域の課題がみえるようになった
 22. 地域の活動などに自発的に参加するようになった
- 運営の活性化
 3. 人間関係が難しかった
 8. 組織の運営が難しかった
 13. 組織の理念や目的を共有できなかった
 18. 活動が義務的、形式になり、楽しくなくなった
 23. 人間関係などで活動に自信をなくした
- 健康行動
 4. 健康のために運動するようになった
 9. 健康についての関心が高くなった
 14. 健康管理をしっかりとするようになった
 19. 栄養のバランスなど食生活に気を配るようになった
 24. 睡眠や休養を十分とるようになった
- 専門職・行政との関係
 5. 行政の援助が得られなかった
 10. 専門職の援助が得られなかった
 15. 専門職との考え方の違いに気づいた
 20. 行政との考え方の違いに気づいた
 25. 行政からの理解が得られなかった

別表B SO式LSHPの5次元の項目

- トレーニングと指導(TI)
 1. すべてのメンバーが能力を十分発揮できるように心がける
 6. メンバーの各々に地域での活動や役割について説明できる
 11. 活動方法と技術をメンバーに指導できる
 16. メンバーの長所や欠点を適切に指導できる
 21. 個人個人の努力がうまくかみあうように配慮できる
- 民主的行動(DB)
 2. 重要なことは実行する前にメンバーの承認を求める
 7. 地域活動の意志決定にメンバーも参加させる
 12. 活動方法について提案するようにメンバーにすすめる
 17. 活動目標はメンバーの合意のもとに決めさせる
 22. メンバーに自主的な活動を促す
- 権威的行動(AB)
 3. メンバーや関係者と相談せずに指導する
 8. 自分のすることをいちいち説明しない
 13. 何事も妥協しないことが多い
 18. メンバーから距離を置き、毅然としている
 23. 反論を許さないような態度で話す
- 社会的援助(SS)
 4. メンバーの個人的な問題の解決に力をかす
 9. メンバー間の摩擦をなくすように努める
 14. 地域活動以外の場でもメンバーの面倒をよくみる
 19. メンバーに信頼されるように努める
 24. メンバーとうちとけた関係を持つように努める
- フィードバック(PF)
 5. 功績をあげたメンバーがいたら他のメンバーの前でほめる
 10. メンバーが特によい意見や活動をした時にはほめる
 15. よい活動や意見を出した時、それに応えるように心がける
 20. メンバーがよい活動したら、自分の喜びの気持ちを表わす
 25. ほめるべきところはほめる

表1 調査地区

件数	東海 近畿・北陸 近畿	全国大会 (和歌山)	無回答
211	107	104	-
100.0	50.7	49.3	-

表2 性別

件数	男性	女性	無回答
211	7	195	9
100.0	3.3	92.4	4.3

表3 仕事の有無

件数	仕事をして いる	して いない	無 回答
211	135	64	12
100.0	64.0	30.3	5.7

表4 年齢

件数	3 0 歳 未 満	3 0 歳 未 満	3 5 歳 未 満	4 0 歳 未 満	4 5 歳 未 満	5 0 歳 未 満	5 5 歳 未 満	6 0 歳 未 満	6 5 歳 未 満	6 5 歳 以 上	無 回 答
211	7	12	30	38	23	34	28	17	11	11	
100.0	3.3	5.7	14.2	18.0	10.9	16.1	13.3	8.1	5.2	5.2	

表5 子ども数

件数	0 人	1 人	2 人	3 人	4 人 以 上	無 回 答	平均 値	実 数 合 計
211	2	25	88	66	18	12	2.37	471
100.0	0.9	11.8	41.7	31.3	8.5	5.7	SD 0.85	100.0

表6 組織のメンバーになってからの経験年数

件数	0 年	3 年 未 満	3 年 未 満	5 年 未 満	1 0 年 未 満	1 5 年 未 満	2 0 年 未 満	3 0 年 未 満	3 0 年 以 上	無 回 答	平均 値	実 数 合 計
211	1	38	23	38	27	32	35	9	8	8	11.44	2323
100.0	0.5	18.0	10.9	18.0	12.8	15.2	16.6	4.3	3.8	3.8	SD 9.10	100.0

表7 入会したきっかけ

件数	自 ら 意 義 を 感 じ て	広 報 や 新 聞 を み て	人 か ら す す め ら れ て	な ん と な く	お し つ け ら れ て や む	に 知 ら な い う ち に 会 員	そ の 他	無 回 答
211	28	1	91	15	12	23	36	5
100.0	13.3	0.5	43.1	7.1	5.7	10.9	17.1	2.4

表8 組織内地位

件数	会 長 (代 表 者 ・ リ ー ダ ー)	会 計 等	幹 部 役 員 (書 記 ・ 推 進 員 (メ ン バ ー))	会 員 ・ 班 員 ・ 推 進 員	そ の 他	無 回 答
211	109	48	39	9	6	
100.0	51.7	22.7	18.5	4.3	2.8	

表9 活動（事業や会議）の参加状況

件数	ほとんど参加していない	半分以上は参加している	半分以下しか参加していない	まったく参加していない	無回答
211	147	32	21	1	10
100.0	69.7	15.2	10.0	0.5	4.7

表10 活動に関する研修会の参加状況

件数	参加している	参加していない	研修は開催されていない	無回答
211	174	13	4	20
100.0	82.5	6.2	1.9	9.5

表11 活動に関する情報伝達の状況

件数	情報は伝わっていない	内容によって時々	伝わっていない	わからない	無回答
211	139	52	5	2	13
100.0	65.9	24.6	2.4	0.9	6.2

表12 活動（事業・会議）の楽しさ

件数	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答
211	100	97	4	10
100.0	47.4	46.0	1.9	4.7

表13 会議で発言できる雰囲気の有無

件数	なっている	どちらともいえない	なっていない	会議がない	無回答
211	128	63	4	2	14
100.0	60.7	29.9	1.9	0.9	6.6

表14 地域住民の活動認知度

件数	いかなり知られて	少し知られて	あまり知られて	まったく知られて	無回答
211	41	102	50	7	11
100.0	19.4	48.3	23.7	3.3	5.2

<活動成果指標尺度の得点>

表15 「人とのつながり」

件数	1点	2点	3点	4点	5点	無回答	平均値	実数合計
211	8	6	11	38	142	6	4.46	915
100.0	3.8	2.8	5.2	18.0	67.3	2.8	SD 1.00	100.0

表16 「地域社会への貢献」

件数	1点	2点	3点	4点	5点	無回答	平均値	実数合計
211	13	14	32	39	101	12	4.01	798
100.0	6.2	6.6	15.2	18.5	47.9	5.7	SD 1.24	100.0

表17 「運営の活性化」

件数	1点	2点	3点	4点	5点	無回答	平均値	実数合計
211	74	38	29	8	5	57	1.91	294
100.0	35.1	18.0	13.7	3.8	2.4	27.0	SD 1.08	100.0

表18 「健康行動」

件数	1点	2点	3点	4点	5点	無回答	平均値	実数合計
211	31	20	28	45	38	49	3.24	525
100.0	14.7	9.5	13.3	21.3	18.0	23.2	SD 1.44	100.0

表19 「専門職・行政との関係」

件数	1点	2点	3点	4点	5点	無回答	平均値	実数合計
211	60	55	18	10	5	63	1.95	289
100.0	28.4	26.1	8.5	4.7	2.4	29.9	SD 1.05	100.0

<期待するリーダー行動の得点>

表20 「トレーニングと指導 (TI)」

件数	1点	2点	3点	4点	5点	無回答	平均値	実数合計
211	7	15	23	56	97	13	4.12	815
100.0	3.3	7.1	10.9	26.5	46.0	6.2	SD 1.10	100.0

表21 「民主的行動 (DB)」

件数	1点	2点	3点	4点	5点	無回答	平均値	実数合計
211	6	15	16	39	123	12	4.30	855
100.0	2.8	7.1	7.6	18.5	58.3	5.7	SD 1.09	100.0

表22 権威的行動 (AB)」

件数	1点	2点	3点	4点	5点	無回答	平均値	実数合計
211	56	27	7	2	4	115	1.66	159
100.0	26.5	12.8	3.3	0.9	1.9	54.5	SD 1.00	100.0

表23 「社会的援助 (SS)」

件数	1点	2点	3点	4点	5点	無回答	平均値	実数合計
211	1	10	42	59	86	13	4.11	813
100.0	0.5	4.7	19.9	28.0	40.8	6.2	SD 0.94	100.0

表24 「フィードバック (PF)」

件数	1点	2点	3点	4点	5点	無回答	平均値	実数合計
211	1	11	14	35	136	14	4.49	885
100.0	0.5	5.2	6.6	16.6	64.5	6.6	SD 0.89	100.0

<t検定および一元配置分散分析に使用した属性・活動実態(女性のみ)のデータ>

表25 組織内地位

	度数	%
会長	103	57.2
役員	45	25.0
会員	32	17.8
合計	180	100.0

表26 年齢

	度数	%
40歳未満	49	25.4
40歳代	59	30.6
50歳代	58	30.1
60歳以上	27	14.0
合計	193	100.0

表27 仕事の有無

	度数	%
仕事あり	128	66.7
仕事ない	64	33.3
合計	192	100.0

表28 子ども数

	度数	%
1人	23	12.1
2人	86	45.3
3人	63	33.2
4人以上	18	9.5
合計	190	100.0

表29 活動参加状況

	度数	%
ほとんど参加	141	73.8
半分以上は参加	32	16.8
半分以下の参加	18	9.4
合計	191	100.0

表30 研修会参加状況

	度数	%
参加している	167	93.3
参加していない	12	6.7
合計	179	100.0

表31 活動の情報伝達の有無

	度数	%
情報伝達群	133	70.7
非情報伝達群	55	29.3
合計	188	100.0

表32 活動の楽しさ

	度数	%
楽しい群	96	49.5
非楽しい群	98	50.5
合計	194	100.0

表33 会議時発言できる雰囲気

	度数	%
発言雰囲気あり群	125	66.5
発言雰囲気あり群	63	33.5
合計	188	100.0

表34 地域住民の認知度

	度数	%
かなり知られている	38	19.7
少し知られている	99	51.3
知られていない	56	29.0
合計	193	100.0

表35 活動成果指標尺度の得点

(全体Alpha=.81)

	度数	平均値	SD	Alpha係数
Q4-A. 人とのつながり	190	4.46	1.02	0.73
Q4-B. 地域社会への貢献	184	3.99	1.26	0.74
Q4-C. 運営の活性化	141	1.87	1.03	0.53
Q4-D. 健康行動	149	3.25	1.42	0.80
Q4-E. 専門職・行政との関係	137	1.91	1.00	0.60

表36 期待するリーダー行動の得点

(全体Alpha=.75)

	度数	平均値	SD	Alpha係数
Q5-A. トレーニングと指導(TI)	183	4.13	1.11	0.64
Q5-B. 民主的行動(DB)	184	4.30	1.09	0.58
Q5-C. 権威的行動(AB)	89	1.60	0.90	0.56
Q5-D. 社会的援助(SS)	183	4.10	0.93	0.40
Q5-E. フィードバック(PF)	182	4.51	0.87	0.53

表37 母親クラブの活動状況等と活動成果指標得点の関係

属性と活動状況	人とのつながり			地域社会への貢献			運営の活性化			健康行動			専門職・行政との関係			
	N	平均値	SD	検定結果	N	平均値	SD	検定結果	N	平均値	SD	検定結果	N	平均値	SD	検定結果
Q03AC.組織内地位	176	4.44	1.05		170	3.98	1.28		129	1.84	1.02		137	3.22	1.42	
会長	102	4.53	0.97		99	4.14	1.24		76	1.99	1.10		81	3.10	1.49	
役員	44	4.36	0.94		41	3.85	1.31		29	1.66	0.72		34	3.24	1.28	
会員	30	4.27	1.39		30	3.60	1.33		24	1.63	1.01		22	3.64	1.33	
Q13AC.年齢	188	4.46	1.02	*	182	3.98	1.26	***	140	1.87	1.03		148	3.24	1.42	
40歳未満	45	4.16	1.17	#	40	3.45	1.43	##	37	1.59	0.76		34	2.94	1.23	
40歳代	58	4.36	1.15		58	3.72	1.33	\$\$	42	2.17	1.12		41	3.37	1.34	
50歳代	58	4.71	0.73	#	57	4.51	0.89	## \$\$	39	1.87	1.00		50	3.24	1.49	
60歳以上	27	4.67	0.83		27	4.22	1.09		22	1.77	1.19		23	3.43	1.65	
Q14AC.仕事の有無	187	4.47	1.02		181	3.99	1.26		140	1.84	1.00		148	3.24	1.42	
仕事あり	126	4.42	1.02		121	3.90	1.26		95	1.91	1.05		94	3.18	1.45	
仕事ない	61	4.56	1.01		60	4.18	1.24		45	1.71	0.87		54	3.33	1.36	
Q15AC.子ども数	186	4.47	1.02		180	4.02	1.25		138	1.87	1.03		147	3.25	1.41	
1人	22	4.36	1.09		22	3.64	1.47		16	1.69	0.95		17	3.00	1.46	
2人	84	4.40	1.07		80	3.95	1.34		62	1.87	0.97		64	3.25	1.38	
3人	62	4.55	1.04		60	4.32	1.02		46	1.87	1.02		51	3.35	1.48	
4人以上	18	4.67	0.59		18	3.83	1.10		14	2.07	1.44		15	3.20	1.32	
Q06AC.活動参加状況	187	4.47	1.02	***	181	4.03	1.24	***	140	1.86	1.03		147	3.27	1.41	
ほとんど参加	138	4.64	0.83	#	136	4.19	1.14	###	104	1.87	1.03		112	3.33	1.38	
半分以上は参加	32	4.28	1.08		30	3.87	1.28	\$	24	1.83	0.92		25	3.04	1.54	
半分以下の参加	17	3.35	1.54	#	15	2.87	1.51	### \$	12	1.83	1.27		10	3.20	1.48	
Q07AC.研修会参加状況	175	4.48	1.01	**	170	4.06	1.23	**	134	1.88	1.04		138	3.33	1.38	
参加している	163	4.53	0.96		160	4.13	1.18		124	1.88	1.02		132	3.32	1.39	
参加していない	12	3.75	1.36		10	3.00	1.49		10	1.90	1.29		6	3.67	1.03	
Q08AC.活動の情報伝達	184	4.49	0.96	*	177	4.04	1.22	***	137	1.87	1.03	**	146	3.27	1.41	
情報伝達群	130	4.61	0.88		128	4.24	1.16		97	1.67	0.89		108	3.33	1.43	
非情報伝達群	54	4.22	1.09		49	3.51	1.23		40	2.35	1.21		38	3.11	1.35	
Q09AC.活動の楽しさ	190	4.46	1.02	**	183	4.01	1.26	***	141	1.87	1.03	*	149	3.25	1.42	*
楽しい群	94	4.69	0.82		93	4.42	1.07		64	1.67	0.94		76	3.50	1.47	
非楽しい群	96	4.23	1.14		90	3.58	1.30		77	2.03	1.08		73	2.99	1.32	
Q10AC.会議時雰囲気	184	4.49	0.98	*	177	4.05	1.24	**	137	1.84	1.01		144	3.24	1.41	
発言雰囲気あり群	122	4.61	0.91		119	4.24	1.16		88	1.83	1.00		98	3.37	1.42	
発言雰囲気あり群	62	4.27	1.07		58	3.66	1.31		49	1.86	1.04		46	2.96	1.37	
Q11AC.地域住民の認知度	188	4.48	0.99	**	182	4.02	1.24	***	140	1.87	1.03		149	3.25	1.42	
かなり知られている	38	4.82	0.69	##	38	4.71	0.80	### \$	29	1.97	1.21		32	3.69	1.42	
少し知られている	99	4.55	0.87		94	4.12	1.11	\$ #	70	1.79	0.92		76	3.12	1.44	
知られていない	51	4.10	1.25	##	50	3.32	1.41	### #	41	1.95	1.09		41	3.15	1.33	

*p<.05 **p<.01 ***p<.001

※ その後の検定については、同記号同士の組み合わせに有意差あり(\$: # : p<.05 \$\$: ## : p<.01 \$\$\$: ### : p<.001)

表38 母親クラブの活動状況等とリーダー行動得点の関係

属性と活動状況	トレーニングと指導(TI)				民主的行動(DB)				権威的行動(AB)				社会的援助(SS)				フィードバック(PF)			
	N	平均値	SD	検定結果	N	平均値	SD	検定結果	N	平均値	SD	検定結果	N	平均値	SD	検定結果	N	平均値	SD	検定結果
Q03AC.組織内地位	170	4.11	1.12		171	4.27	1.11	**	80	1.61	0.92		170	4.07	0.95		169	4.50	0.87	
会長	96	4.24	1.05		98	4.46	0.95	#	42	1.60	0.83		98	4.13	0.96		97	4.54	0.82	
役員	44	4.02	1.19		43	4.21	1.15		23	1.83	1.11		43	4.05	0.95		43	4.47	0.96	
会員	30	3.80	1.19		30	3.73	1.36	#	15	1.33	0.82		29	3.90	0.90		29	4.45	0.91	
Q13AC.年齢	182	4.14	1.11		183	4.31	1.09	*	89	1.60	0.90		182	4.11	0.92	*	181	4.52	0.86	
40歳未満	44	4.25	0.99		45	4.22	1.02		23	1.83	1.07		45	4.09	0.85		45	4.40	0.89	
40歳代	54	3.91	1.28		55	4.05	1.25	#	26	1.54	0.81		54	3.81	0.99		54	4.41	1.00	
50歳代	57	4.23	1.00		57	4.44	1.02		28	1.39	0.63		56	4.27	0.86		55	4.64	0.70	
60歳以上	27	4.22	1.12		26	4.73	0.83	#	12	1.75	1.22		27	4.41	0.89		27	4.70	0.78	
Q14AC.仕事の有無	180	4.13	1.11		181	4.31	1.09		89	1.56	0.83		180	4.11	0.92		179	4.53	0.84	
仕事あり	120	4.12	1.10		121	4.32	1.06		59	1.53	0.84		120	4.09	0.93		119	4.51	0.86	
仕事ない	60	4.17	1.14		60	4.30	1.15		29	1.62	0.82		60	4.13	0.93		60	4.57	0.81	
Q15AC.子ども数	178	4.13	1.11		180	4.30	1.09		88	1.60	0.90		178	4.10	0.94		178	4.53	0.85	*
1人	22	4.09	1.27		22	4.09	1.34		9	2.00	0.71		21	4.10	1.04		21	4.38	1.02	
2人	81	4.10	1.11		81	4.30	1.13		40	1.70	1.11		80	4.14	0.87		80	4.51	0.83	
3人	60	4.18	1.08		60	4.33	1.00		29	1.45	0.69		61	4.20	0.91		60	4.73	0.61	
4人以上	16	4.19	1.11		17	4.47	0.87		10	1.30	0.48		17	3.59	1.12		17	4.06	1.25	
Q06AC.活動参加状況	179	4.14	1.12		180	4.34	1.05	**	87	1.56	0.87		179	4.12	0.92		178	4.54	0.83	
ほとんど参加	133	4.19	1.12		133	4.44	1.00	##	66	1.58	0.84		134	4.16	0.92		133	4.56	0.83	
半分以上は参加	30	4.00	1.14		31	4.35	0.98	\$	13	1.62	1.19		30	4.07	1.01		30	4.67	0.61	
半分以下の参加	16	4.00	1.10		16	3.56	1.36	## \$	8	1.38	0.52		15	3.80	0.77		15	4.13	1.13	
Q07AC.研修会参加状況	168	4.17	1.10		170	4.38	1.03	*	79	1.61	0.90		169	4.12	0.92		168	4.56	0.82	
参加している	156	4.20	1.08		158	4.47	0.92		71	1.59	0.84		158	4.15	0.92		157	4.58	0.78	
参加していない	12	3.83	1.34		12	3.17	1.53		8	1.75	1.39		11	3.64	0.81		11	4.27	1.27	
Q08AC.活動の情報伝達	178	4.14	1.10		179	4.33	1.07	**	85	1.58	0.88		178	4.12	0.92		177	4.53	0.85	
情報伝達群	128	4.18	1.09		128	4.49	0.90		57	1.54	0.83		128	4.20	0.89		127	4.57	0.77	
非情報伝達群	50	4.04	1.14		51	3.92	1.34		28	1.64	0.99		50	3.94	0.98		50	4.40	1.03	
Q09AC.活動の楽しさ	182	4.13	1.11	**	183	4.32	1.06	**	88	1.57	0.87		182	4.11	0.92	*	181	4.52	0.85	
楽しい群	92	4.37	1.02		91	4.54	0.87		41	1.51	0.84		91	4.25	0.94		90	4.59	0.78	
非楽しい群	90	3.89	1.15		92	4.11	1.19		47	1.62	0.90		91	3.97	0.89		91	4.46	0.91	
Q10AC.会議時雰囲気	178	4.15	1.09	**	179	4.32	1.07	*	87	1.57	0.87		178	4.11	0.93		177	4.55	0.83	
発言雰囲気あり群	117	4.32	1.01		117	4.47	0.95		55	1.58										

表39 母親クラブの活動状況等と活動成果指標尺度・期待するリーダー行動得点の関係

属性と活動状況	活動成果指標尺度					期待するリーダー行動尺度				
	人とのつながり	地域社会への貢献	運営の活性化	健康行動	専門職・行政との関係	トレーニングと指導(TI)	民主的行動(DB)	権威的行動(AB)	社会的援助(SS)	フィードバック(PF)
Q03AC.組織内地位							**			
会長							#			
役員										
会員							#			
Q13AC.年齢	*	***					*		*	
40歳未満	#	##								
40歳代		\$\$					#			
50歳代	#	## \$\$								
60歳以上							#			
Q14AC.仕事の有無										
仕事あり										
仕事なし										
Q15AC.子ども数										*
1人										
2人										
3人										
4人以上										
Q06AC.活動参加状況	***	***					**			
ほとんど参加	#	###					##			
半分以上は参加		\$					\$			
半分以下の参加	#	### \$					## \$			
Q07AC.研修会参加状況	**	**					*			
Q08AC.活動の情報伝達	*	***	**				**			
Q09AC.活動の楽しさ	**	***	*	*		**	**		*	
Q10AC.会議時雰囲気	*	**				**	*			
Q11AC.地域住民の認知度	**	***					**		***	*
かなり知られている	##	### \$					## \$\$		## \$\$\$	# \$
少し知られている		\$ #					##		##	#
知られていない	##	### #					\$\$		\$\$\$	\$

*:p<.05 **p<.01 ***:p<.001

※ その後の検定については、同記号同士の組み合わせに有意差あり

(\$: # : p<.05 \$\$: ## : p<.01 \$\$\$: ### : p<.001)

表40 活動成果指標尺度得点の比較

	今回の点数			A市愛育班(2007)			t検定
	標本数	平均点	SD	標本数	平均点	SD	
人とのつながり	190	4.46	1.02	56	4.14	1.16	
地域社会への貢献	184	3.99	1.26	56	3.20	1.53	***
運営の活性化	141	1.87	1.03	56	0.89	0.96	***
健康行動	149	3.25	1.42	56	3.11	1.58	
専門職・行政との関係	137	1.91	1.00	56	0.79	0.98	***

*:p<.05 **p<.01 ***:p<.001

表41 期待するリーダー行動得点の比較

	今回の点数			A市愛育班(2007)			t検定
	標本数	平均点	SD	標本数	平均点	SD	
トレーニングと指導(TI)	183	4.13	1.11	46	2.87	1.69	***
民主的行動(DB)	184	4.30	1.09	46	3.22	1.41	***
権威的行動(AB)	89	1.60	0.90	46	0.50	0.75	***
社会的援助(SS)	183	4.10	0.93	46	3.50	1.26	***
フィードバック(PF)	182	4.51	0.87	46	4.28	1.35	

*:p<.05 **p<.01 ***:p<.001

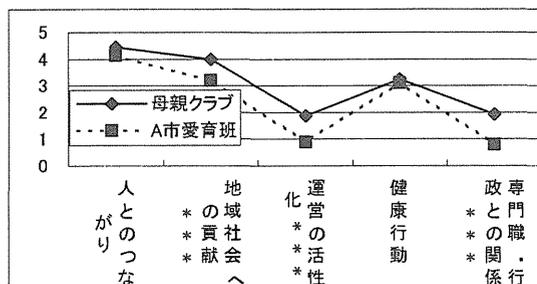


図1 活動成果指標の得点の比較

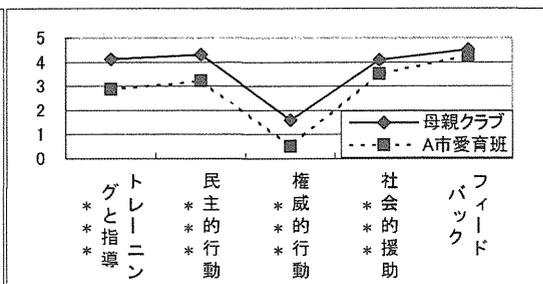


図2 期待するリーダー行動の得点比較

ブロック名	都道府県・政令指定都市名	調査対象	回収数	回収率	サンプル数	児童館数(除大型)	
北海道・東北	北海道	○	37	24.8%	149	297	
	青森県	○	16	30.2%	53	107	
	岩手県					138	
	宮城県	○	17	42.5%	40	80	
	秋田県	○	15	25.0%	60	120	
	山形県	○	2	5.3%	38	77	
	福島県	○	9	24.3%	37	73	
	札幌市					104	
	仙台市	○	15	38.5%	39	77	
	関東・甲信越	茨城県	○	9	37.5%	24	48
栃木県		○	6	21.4%	28	57	
群馬県		○	11	33.3%	33	65	
埼玉県						123	
千葉県						79	
東京23区						506	
東京多摩地区						133	
神奈川県						50	
新潟県		○	10	27.0%	37	75	
山梨県						51	
長野県						174	
千葉市						0	
横浜市						0	
川崎市						59	
東海・近畿・北陸		富山県	○	17	63.0%	27	53
		石川県	○	12	25.0%	48	97
		福井県	○	17	30.9%	55	109
	岐阜県					72	
	静岡県	○	13	54.2%	24	48	
	愛知県	○	30	22.6%	133	267	
	三重県					44	
	滋賀県					50	
	京都府					49	
	大阪府					47	
	兵庫県	○	13	31.7%	41	81	
	奈良県					59	
	和歌山県	○	2	3.8%	52	105	
	名古屋市					18	
	京都市					104	
	大阪市					12	
	神戸市					117	
	中国・四国・九州	鳥取県	○	6	24.0%	25	49
		島根県	○	2	14.3%	14	28
岡山県		○	11	44.0%	25	50	
広島県		○	6	28.6%	21	42	
山口県		○	3	14.3%	21	42	
徳島県						65	
香川県		○	11	36.7%	30	61	
愛媛県		○	4	22.2%	18	35	
高知県						31	
福岡県						49	
佐賀県		○	2	13.3%	15	30	
長崎県						44	
熊本県		○	4	14.8%	27	54	
大分県		○	7	41.2%	17	35	
宮崎県		○	10	25.0%	40	80	
鹿児島県		○	3	12.5%	24	48	
沖縄県		○	5	17.2%	29	58	
広島市		○	8	15.4%	52	103	
北九州市		○	3	14.3%	21	42	
福岡市						1	
	小計	○	336	25.9%	1297		
	無回答		18		宛先不明(38)		
	合計		354	28.1%	1259	4772	
	無効回答(期限遅れ等)		15				

【児童館調査】

表43 児童館の場所【市町村区分】

件数	指定都市	中核市	一般市	町	村	無回答
354	38	46	182	74	7	7
100.0	10.7	13.0	51.4	20.9	2.0	2.0

表44 児童館の開設年

件数	昭和39年以前	昭和44年	昭和45年	平成9年	平成11年	平成15年以降	無回答
354	5	65	136	90	37	10	11
100.0	1.4	18.4	38.4	25.4	10.5	2.8	3.1

表45 児童館の開館時間

件数	7時以前	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時以降	無回答
354	7	77	173	46	1	16	27	3	4
100.0	2.0	21.8	48.9	13.0	0.3	4.5	7.6	0.8	1.1

表46 児童館の閉館時間

件数	15時以前	16時台	17時台	18時台	19時台	20時以降	無回答
354	-	13	178	150	6	3	4
100.0	-	3.7	50.3	42.4	1.7	0.8	1.1

表47 児童館の年間開館日数

件数	200日未満	220日未満	229日未満	229日未満	320日未満	330日未満	350日以上	無回答	平均値	実数合計
354	5	28	65	125	45	52	12	22	286.89	95246
100.0	1.4	7.9	18.4	35.3	12.7	14.7	3.4	6.2		100.0

表48 児童館の設置主体

件数	市区町村	社会福祉法人	民法法人	NPO法人	社その他(民間会)	無回答
354	326	22	-	-	4	2
100.0	92.1	6.2	-	-	1.1	0.6

表49 運営主体

件数	市区町村	社会福祉法人	民法法人	NPO法人	社その他(民間会)	無回答
354	237	85	6	5	20	1
100.0	66.9	24.0	1.7	1.4	5.6	0.3

表50 指定管理者制度の導入状況

件数	いる	いない	していないが予定	無回答
354	108	219	17	10
100.0	30.5	61.9	4.8	2.8

表51 指定管理者制度の導入年

件数	平成15年以前	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	無回答
108	4	11	14	57	12	10
100.0	3.7	10.2	13.0	52.8	11.1	9.3

表52 指定管理者制度の導入年

件数	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	以降平成23年	無回答
17 100.0	1 5.9	1 5.9	7 41.2	1 5.9	1 5.9	6 35.3

表53 児童館のタイプ

件数	小型児童館	タ ー 児童 セン	ン タ ー 大型 児童 セ	その他	無回答
354 100.0	243 68.6	93 26.3	4 1.1	13 3.7	1 0.3

表54 児童館の総職員

件数	1人	3人	4人	5人	6人	7人	9人	無回答	平均値	実数合計
354 100.0	61 17.2	90 25.4	65 18.4	43 12.1	34 9.6	21 5.9	17 4.8	23 6.5	4.34	1438 100.0

表55 児童館の児童厚生員

件数	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均値	実数合計
354 100.0	8 2.3	32 9.0	113 31.9	79 22.3	58 16.4	25 7.1	27 7.6	12 3.4	3.06	1047 100.0

表56 児童館の児童厚生員【常勤】

件数	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均値	実数合計
354 100.0	54 15.3	73 20.6	125 35.3	44 12.4	16 4.5	4 1.1	3 0.8	35 9.9	1.76	561 100.0

表57 児童館の児童厚生員【非常勤】

件数	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均値	実数合計
354 100.0	133 37.6	65 18.4	51 14.4	28 7.9	25 7.1	8 2.3	9 2.5	35 9.9	1.43	457 100.0

表58 児童館の運営にかかる年間予算額

件数	10万円未満	10万円未満	50万円未満	100万円未満	300万円未満	300万円以上	無回答	平均値	実数合計
354 100.0	9 2.5	57 16.1	66 18.6	51 14.4	47 13.3	14 4.0	110 31.1	7952485.59	1940406484 100.0

表59 管轄地域の大きさ

件数	小学校区	中学校区	その他	無回答
354 100.0	214 60.5	64 18.1	66 18.6	10 2.8

表60 業務割合【児童の集団及び個別指導を行うこと】

件数	0%	20%未満	40%未満	60%未満	80%未満	100%未満	100%	無回答	平均値	実数合計
354 100.0	2 0.6	6 1.7	33 9.3	82 23.2	71 20.1	78 22.0	11 3.1	71 20.1	60.83	17214.0 100.0

表61 業務割合【地域組織活動の育成助長及びその指導者の養成を図ること】

件数	0%	20%未満	40%未満	60%未満	80%未満	100%未満	100%	無回答	平均値	実数合計
354	85	137	51	9	1	-	-	71	10.14	2870.0
100.0	24.0	38.7	14.4	2.5	0.3	-	-	20.1		100.0

表62 業務割合【子育て家庭の支援を行うこと】

件数	0%	20%未満	40%未満	60%未満	80%未満	100%未満	100%	無回答	平均値	実数合計
354	39	147	79	14	2	1	1	71	14.27	4038.5
100.0	11.0	41.5	22.3	4.0	0.6	0.3	0.3	20.1		100.0

表63 業務割合【その他、地域の児童の健全育成に必要な活動を行うこと】

件数	0%	20%未満	40%未満	60%未満	80%未満	100%未満	100%	無回答	平均値	実数合計
354	33	166	56	21	4	2	1	71	14.76	4177.5
100.0	9.3	46.9	15.8	5.9	1.1	0.6	0.3	20.1		100.0

表64 放課後児童クラブの有無

件数	あ	な	無回答
354	181	161	12
100.0	51.1	45.5	3.4

表65 母親クラブの有無

件数	あ	な	無回答
354	218	120	16
100.0	61.6	33.9	4.5

表66 支援

件数	はい	いいえ	無回答
218	199	16	3
100.0	91.3	7.3	1.4

表67 事業の協働

件数	あ	な	無回答
218	179	34	5
100.0	82.1	15.6	2.3

表68 子ども会の有無

件数	あ	な	無回答
354	242	84	28
100.0	68.4	23.7	7.9

表69 支援

件数	はい	いいえ	無回答
242	95	125	22
100.0	39.3	51.7	9.1

表70 事業の協働

件数	あ	な	無回答
242	77	138	27
100.0	31.8	57.0	11.2

表71 子育てネットワークの有無

件数	あ	な	無回答
354	139	155	60
100.0	39.3	43.8	16.9

表72 支援

件数	はい	いいえ	無回答
139	94	34	11
100.0	67.6	24.5	7.9

表73 事業の協働

件数	あ	な	無回答
139	73	53	13
100.0	52.5	38.1	9.4

表74 子育てグループの有無

件数	あ	な	無回答
354	215	108	31
100.0	60.7	30.5	8.8

表75 支援

件数	はい	いいえ	無回答
215	162	39	14
100.0	75.3	18.1	6.5

表76 事業の協働

件数	あ	な	無回答
215	108	83	24
100.0	50.2	38.6	11.2

表77 その他組織・活動の有無

件数	あ	な	無回答
354	50	28	276
100.0	14.1	7.9	78.0

表78 支援

件数	はい	いいえ	無回答
50	43	4	3
100.0	86.0	8.0	6.0

表79 事業の協働

件数	あ	な	無回答
50	41	4	5
100.0	82.0	8.0	10.0

表80 親同士が交流できる機会や場所の設置状況

件数	設けている	設けていない	無回答
354	246	99	9
100.0	69.5	28.0	2.5

表81 母親クラブへの支援内容 (M. A.)

件数	事務局を担っている	助言などのアドバイスをしている	会議に出席している	施設を貸している	図コピなどなどの便宜を	補助金などの資金援助をしている	研修を実施している	情報提供をしている	活動のPRをしている	協力している等の活動に	その他	無回答
199	99	132	117	168	119	58	37	103	111	130	4	4
100.0	49.7	66.3	58.8	84.4	59.8	29.1	18.6	51.8	55.8	65.3	2.0	2.0

表82 母親クラブの支援で困ったことの有無

件数	あ	な	無回答
354	85	105	164
100.0	24.0	29.7	46.3

表83 母親クラブや子ども会等の地域組織の支援

件数	援積極的に支	が支援助出来ない	支援助しない	わからない	無回答
354	233	30	13	64	14
100.0	65.8	8.5	3.7	18.1	4.0

表84 児童厚生員の地域組織支援をテーマにした研修の参加意向 (M. A.)

件数	是非参加したい	内容を	事業	加旅	参加	その他	複数	無回答
354	10	94	24	165	8	21	26	6
100.0	2.8	26.6	6.8	46.6	2.3	5.9	7.3	1.7

表85 児童厚生員の地域組織支援をテーマにした研修の参加意向 (M. A.)

件数	是非参加したい	内容を	事業	参加	必要	その他	無回答
26	5	10	8	23		9	
100.0	19.2	38.5	30.8	88.5	-	34.6	-

表86 回答者の役職

件数	館長	職員	児童厚生員	無回答
354	135	48	165	6
100.0	38.1	13.6	46.6	1.7

表87 回答者の保有資格

件数	保育士	教員資格	その他	無回答
165	82	51	40	11
100.0	49.7	30.9	24.2	6.7

表88 回答者の雇用形態

件数	常勤	非常勤	無回答
354	257	59	38
100.0	72.6	16.7	10.7

表89 設置運営タイプ

	度数	%
公設公営	234	67.0
公設民営	91	26.1
民設民営	24	6.9
合計	349	100.0

表90 市町村別設置・運営タイプ(p<.001)

	公設公営		公設民営		民設民営		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
指定都市	17	44.7	20	52.6	1	2.6	38	100
中核市	25	55.6	18	40.0	2	4.4	45	100
一般市	120	67.4	43	24.2	15	8.4	178	100
町	63	85.1	8	10.8	3	4.1	74	100
村	5	71.4	2	28.6			7	100
合計	230	67.3	91	26.6	21	6.1	342	100

表91 設置・運営主体別業務割合(n.s.)

		度数	平均値	SD
【児童の集団及び個別指導を行うこと】	公設公営	214	62.86	24.40
	公設民営	86	62.73	22.39
	民設民営	24	64.71	25.14
	合計	324	62.96	23.87
【地域組織活動の育成助長及びその指導者の養成を図ること】	公設公営	214	11.63	14.18
	公設民営	86	11.08	13.93
	民設民営	24	17.13	22.57
	合計	324	11.89	14.91
【子育て家庭の支援を行うこと】	公設公営	214	17.54	18.59
	公設民営	86	18.67	19.25
	民設民営	24	24.63	27.82
	合計	324	18.36	19.59
【その他、地域の児童の健全育成に必要な活動を行うこと】	公設公営	214	20.15	22.79
	公設民営	86	17.57	19.54
	民設民営	24	20.83	25.35
	合計	324	19.51	22.14

表92 設置・運営タイプ別地域組織活動の有無

	母親クラブ		子ども会*		子育てネットワーク		子育てグループ(サークル)		その他	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
公設公営	147	65.9	150	69.8	89	45.6	138	63.6	23	53.5
公設民営	53	61.6	70	84.3	42	56.0	59	73.8	20	76.9
民設民営	14	58.3	17	73.9	6	30.0	16	69.6	5	71.4
合計	214	64.3	237	73.8	137	47.2	213	66.6	48	63.2

注：*<.05 χ 自乗検定

表93 設置・運営主体別母親クラブや子ども会等の地域組織の支援意向(n.s.)

	積極的に支援する		支援したいが出来ない		支援しない		わからない		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
公設公営	146	64.9	19	8.4	11	4.9	49	21.8	225	100
公設民営	65	74.7	9	10.3	2	2.3	11	12.6	87	100
民設民営	17	73.9	2	8.7			4	17.4	23	100
合計	228	68.1	30	9.0	13	3.9	64	19.1	335	100

表94 母親クラブの有無別地域組織の支援意向(p<.001)

	支援する		支援しない		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%
母親クラブあり	176	83.4	35	16.6	211	100
母親クラブなし	50	43.1	66	56.9	116	100
合計	226	69.1	101	30.9	327	100

母親クラブの活動についてのアンケート

V.0702SR

【調査のお願い】

近年、子育て支援サービスが積極的に進められており、行政サービスとは違った当事者を
含めた住民の活動が重要とされており、子どもたちの健全育成を目的にボランティア活動を展開す
る母親クラブの活動も、地域の子育て支援の担い手と大いに期待されています。

そこで、母親クラブのより一層の強化を図るために本調査を実施することにいたしました。本調
査は母親クラブの会員（メンバー）の方のお考えを伺い、今後の活動のあり方などを検討する基礎
資料となるものです。ご回答くださるようお願いいたします。

皆様からいただいたご回答の結果は、すべて統計数字として扱われ、無記名式ですので、個人の
お名前が表に出ることはありません。また調査結果はすべて学術研究の資料として使われ、他の目
的のために利用されることはまったくありません。結果は全国各地域活動連絡協議会機関紙「ならい
子育てネットだより」等を通じて報告させていただきます。ご多忙とは存じますが、ご協力いただ
きまようようお願いいたします。

なお、本調査の趣旨をご理解、ご承諾のうえ、ご回答ください（ご回答いただいた場合は、本調
査に協力を同意されたものとします）。

平成19年9月

（社福）恩賜財団母子愛育会 日本子ども家庭総合研究所
母子保健研究部 主任研究員 斉藤 進

【記入にあたっての注意】

1. 回答は、あてはまる事項の番号に○印をつけてください。
2. 回答は一つだけ選択してください。
3. () 等記入欄は該当事項を記入してください。
4. 回答記入後、所定の回収箱にお入れください。
5. 調査について問い合わせは、下記までお願いします。

〒106-8580 東京都港区南麻布5-6-8

日本子ども家庭総合研究所 斉藤 進 (サイトウ ススム)

FAX 03-3473-8408 電話 03-3473-8332 (直通)

E-mail saito@aiku.or.jp URL <http://www.aiku.or.jp/>

Q 1 組織のメンバーになってからの年数（経験年数）は何年ですか。

()年目

Q 2 入会したきっかけは何ですか。

1. 自ら意義を感じて
2. 広報や新聞をみて
3. 人からすすめられて
4. などなく
5. おしつけられてやむをえず
6. 知らないうちに会員になっていた
7. その他()

Q 3 あなたの組織内での役割は次のどれですか。

1. 会長(代表者・リーダー)
2. 幹部役員(書記・会計等)
3. 全員・班員・推進員(メンバー)
4. その他()

【母親クラブの活動を行って感じたことについて伺います】

あなたは活動してどんなことを感じましたか。

次の各項目について、感じたかどうか「はい」「いいえ」に○を付けてください。

1. 親しくつきあえる友人ができた	1. はい	2. いいえ
2. 地域に溶け込めたと思うようになった	1. はい	2. いいえ
3. 人間関係が難しかった	1. はい	2. いいえ
4. 健康のために運動するようになった	1. はい	2. いいえ
5. 行政の援助が得られなかった	1. はい	2. いいえ
6. 進んで外に出るようになった	1. はい	2. いいえ
7. 地域で活動のPRをするようになった	1. はい	2. いいえ
8. 組織の運営が難しかった	1. はい	2. いいえ
9. 健康についての関心が高くなった	1. はい	2. いいえ
10. 専門職の援助が得られなかった	1. はい	2. いいえ
11. 人とのつながりを大切にしようになった	1. はい	2. いいえ
12. 地域の人たちに感謝された	1. はい	2. いいえ
13. 組織の理念や目的を共有できなかった	1. はい	2. いいえ
14. 健康管理をしっかりするようになった	1. はい	2. いいえ
15. 専門職との考え方の違いに気づいた	1. はい	2. いいえ
16. 人との出会いが楽しくなくなった	1. はい	2. いいえ
17. 地域の課題がみえようようになった	1. はい	2. いいえ
18. 活動が義務的、形式的になり、楽しくなくなった	1. はい	2. いいえ
19. 栄養のバランスなど食生活に気を配るようになった	1. はい	2. いいえ
20. 行政との考え方の違いに気づいた	1. はい	2. いいえ
21. お互い声をかけあうようになった	1. はい	2. いいえ
22. 地域の活動などに自発的に参加するようになった	1. はい	2. いいえ
23. 人間関係などで活動に自信をなくした	1. はい	2. いいえ
24. 睡眠や休養を十分とるようになった	1. はい	2. いいえ
25. 行政からの理解が得られなかった	1. はい	2. いいえ
26. 友人を活動に誘うようになった	1. はい	2. いいえ
27. その他()		

【リーダーについてあなたのお考えを伺います】

- Q 5 次の各項目は、地域保健活動のリーダーが示すと思われる行動について述べていただけます。
 『私はリーダーに次のようにしてほしい』と思うものについて、「そう思う」、「そう思わない」のどちらからあなたの気持ちに近い方を選択してください。
 ここではリーダーの示す現実ではなく、メンバーが期待するリーダーの行動（あり方）についての個人的な意見を知らうとするものです。

1. すべてのメンバーが能力を十分発揮できるように心がける	1. そう思う	2. そう思わない
2. 重要なことは実行する前にメンバーの承認を求める	1. そう思う	2. そう思わない
3. メンバーや関係者と相談せずに指導する	1. そう思う	2. そう思わない
4. メンバーの個人的な問題の解決に力をかす	1. そう思う	2. そう思わない
5. 功績をあげたメンバーがいいたら他のメンバーの前でほめる	1. そう思う	2. そう思わない
6. メンバーの各々に地域での活動や役割について説明できる	1. そう思う	2. そう思わない
7. 地域活動の意思決定にメンバーも参加させる	1. そう思う	2. そう思わない
8. 自分のすることささいいち説明しない	1. そう思う	2. そう思わない
9. メンバー間の摩擦をなくすように努める	1. そう思う	2. そう思わない
10. メンバーが特により意見や活動をした時にはほめる	1. そう思う	2. そう思わない
11. 活動方法と技術をメンバーに指導できる	1. そう思う	2. そう思わない
12. 活動方法について提案するようにメンバーにすすめる	1. そう思う	2. そう思わない
13. 何事も妥協しないことが多い	1. そう思う	2. そう思わない
14. 地域活動以外の場でもメンバーの面倒をよくみる	1. そう思う	2. そう思わない
15. よい活動や意見を出した時、それに応えるように心がける	1. そう思う	2. そう思わない
16. メンバーの長所や欠点を適切に指導できる	1. そう思う	2. そう思わない
17. 活動目標はメンバーの合意のもとに決めさせる	1. そう思う	2. そう思わない
18. メンバーから距離を置き、毅然としている	1. そう思う	2. そう思わない
19. メンバーに信頼されるように努める	1. そう思う	2. そう思わない
20. メンバーがよい活動をしたら、自分の喜びの気持ちを乗わす	1. そう思う	2. そう思わない
21. 個人個人の努力がうまくかみあうように配慮できる	1. そう思う	2. そう思わない
22. メンバーに自主的な活動を促す	1. そう思う	2. そう思わない
23. 反論を許さないような態度で話す	1. そう思う	2. そう思わない
24. メンバーとうちとけた関係を持つように努める	1. そう思う	2. そう思わない
25. ほめるべきところはほめる	1. そう思う	2. そう思わない

【あなたの活動状況について伺います】

- Q 6 あなたは、出席しなければならぬ組織の活動（事業や会議）にどの程度参加していますか。
 1. ほとんど参加している
 2. 半分以上は参加している
 3. 半分以下しか参加していない
 4. まったく参加していない

- Q 7 あなたは、活動に関する研修会に参加していますか。
 1. 参加している
 2. 参加していない
 3. 研修は開催されていない

- Q 8 あなたへ組織の活動に関する情報が伝わってきていますか。
 1. 情報は伝わってくる
 2. 内容によって時々伝わってくる
 3. 伝わってこない
 4. わからない

- Q 9 事業や会議の時、あなたは楽しいですか。
 1. はい
 2. どちらともいえない
 3. いいえ

- Q 10 会議の時、みんなが発言できる雰囲気になっていますか。
 1. なっている
 2. どちらともいえない
 3. なっていない
 4. 会議がない

- Q 11 地域の人達は、あなた達の活動を知っていると思いますか。
 1. かなり知られている
 2. 少し知られている
 3. あまり知られていない
 4. まったく知られていない

【以下は差し支えない範囲でお答えください】

- Q 1 2 あなたの性別を教えてください。
 1. 男性
 2. 女性

- Q 1 3 あなたの年齢は次のどれに該当しますか。
 1. 30歳未満
 2. 30～34歳
 3. 35～39歳
 4. 40～44歳
 5. 45～49歳
 6. 50～54歳
 7. 55～59歳
 8. 60～64歳
 9. 65歳以上

- Q 1 4 あなたは、仕事をしていますか。
 1. 仕事をしています
 2. していない

- Q 1 5 お子様は何人ですか。
 ()人

★★ ご協力ありがとうございました。★★
 お帰りの際、アンケート回収箱にお入れください。

児童館と母親クラブに関する調査

【調査のお願い】

近年、子育て支援サービスが積極的に進められ、また、行政サービスとは違った当事者を含めた住民の活動が重要とされており、子どもたちの健全育成を目的にボランティア活動を展開する母親クラブの活動は、地域の子育て支援の担い手と大いに期待されています。

そこで、母親クラブのよりの一層の強化を図るため、児童館との連携についての調査を実施することにいたしました。本調査は児童館と母親クラブ等の地域組織との連携や協働の実態を調査し、今後の子育て支援方策を検討する基礎資料となるものです。ご多忙とは存じますが、ご回答くださるようお願いいたします。

回答は、すべて統計数字として扱われ、無記名式ですので、貴施設のお名前が表に出ることはありません。また調査結果はすべて学術研究の資料として使われ、他の目的のために利用されることはまったくありません。結果は研究所ホームページ等を通じて報告させていただきます。ご多忙とは存じますが、ご協力いただきますようお願いいたします。

平成 20 年 2 月

(社) 恩賜財団母子愛育会 日本子ども家庭総合研究所
母子保健研究部 主任研究員 斉藤 進

【記入にあたっての注意】

1. 回答は、あてはまる事項の番号に、一つだけ○印をつけてください。
2. 複数回答等の指示がある場合は、その指示に従ってください。
3. () 等記入欄は該当事項を記入してください。
4. 回答記入後、同封の返信用封筒(切手は不要)で返送してください。
5. 回答は、平成 20 年 3 月 22 日(土)までに投函してください。
6. 調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

〒106-8560 東京都港区南麻布 5-6-8

日本子ども家庭総合研究所 斉藤 進 (サイトウススム)

FAX 03-3473-8408 電話 03-3473-8392 (直通)

E-mail saito@aikku.or.jp URL http://www.aikku.or.jp/

I. 貴児童館について伺います。

Q1. 児童館の場所について、都道府県・指定都市名と市町村区分をお教えてください。

都道府県・指定都市名 ()
市町村区分

1. 指定都市
2. 中核市
3. 一般市
4. 町
5. 村

Q2. 児童館の開設年はいつですか。 昭和 ・ 平成 () 年

Q3. 児童館の開館時間と年間開館日数を教えてください。

開館 (: ~ :) 年間開館日数 () 日

Q4. 児童館の設置主体は次のどこですか。

1. 市区町村
2. 社会福祉法人
3. 民法法人
4. NPO 法人
5. その他 (民間会社など)

Q5. 運営主体は次のどれですか。

1. 市区町村
2. 社会福祉法人
3. 民法法人
4. NPO 法人
5. その他 (民間会社など)

Q6. 指定管理者制度を導入していますか。

1. いる (平成 年から)
2. いない (平成 年から)

Q7. 児童館のタイプは次のどれですか。

1. 小型児童館
2. 児童センター
3. 大型児童センター
4. その他

Q8. 児童館には、何人の児童厚生員がいますか。

総職員 () 人に対し、児童厚生員 () 人
内訳 常勤の児童厚生員 () 人
非常勤の児童厚生員 () 人

Q9. 児童館の運営にかかるおおよその年間予算額はいくらかですか。

() 円

Q10. 管轄地域の大きさはどれくらいですか。

1. 小学校区
2. 中学校区
3. その他 ()

Q11. 次の児童館の機能について、その業務割合をお教えてください。

児童館の機能	業務割合 (%)
①健全な遊びを通して、児童の集団及び個別指導を行うこと	%
②母親クラブ、子ども会等の地域組織活動の育成助長及びその指導者の養成を図ること	%
③子育てに対して不安や悩みを抱える母親からの相談に応じるなど、子育て家庭の支援を行うこと	%
④その他、地域の児童の健全育成に必要な活動を行うこと	%

Q12. 実施している特色ある事業について、力を入れている順に3つ記入してください。

1.	
2.	
3.	

Q13. 児童館に放課後児童クラブ(放課後児童健全育成事業)がありますか。

1. ある 2. ない

Q14. 児童館の地域に次の地域組織や住民活動がありますか。また支援や事業を協働していますか。

地域にある地域組織	組織・活動の有無	支援している	事業の協働
1. 母親クラブ ※1	1. あり 2. なし	1. はい 2. いいえ	1. あり 2. なし
2. 子ども会	1. あり 2. なし	1. はい 2. いいえ	1. あり 2. なし
3. 子育てネットワーク	1. あり 2. なし	1. はい 2. いいえ	1. あり 2. なし
4. 子育てグループ(サークル) ※2	1. あり 2. なし	1. はい 2. いいえ	1. あり 2. なし
5. その他()	1. あり 2. なし	1. はい 2. いいえ	1. あり 2. なし

※1 母親クラブ：母親等による児童健全育成および児童福祉の向上を目的とした自主的な組織。
 ※2 子育てグループ：育児中の母親の集まり、グループ。

Q15. 児童館に親同士が交流できる機会や場所(フリースペース)を設けていますか。

1. 設けている 2. いない

II. 母親クラブとの関係について伺います→母親クラブがない児童館はQ19へ→
 (Q14で母親クラブあり、協働事業ありと回答した児童館のみお答えください。)

Q16. 母親クラブとの協働事業(名称)を教えてください(力を入れている順に3つまで)。

1.	
2.	
3.	

(Q14で母親クラブあり、支援していると回答した児童館のみお答えください。)

Q17. 母親クラブへの支援内容についてお答えください(複数回答)。

1. 事務局を担っている 2. 助言などのアドバイスをしている (次頁に続く)
 3. 会議に出席している 4. 施設を貸している

5. コピーなどの便宜を図っている 6. 補助金などの資金援助をしている
 7. 研修を実施している 8. 情報提供をしている
 9. 活動のPRをしている 10. イベント等の活動に協力している
 11. その他()

Q18. 母親クラブの支援で困ったことがありますか

1. ある 2. ない

支援で困ったことの内容について箇条書きに3つ記入してください

1.	
2.	
3.	

III. 母親クラブの有無に関係なくお答えください。

Q19. 貴児童館は、母親クラブや子ども会等の地域組織の支援を実施する方針ですか。

1. 積極的に支援する

2. 支援したいが出来ない →

3. 支援しない →

4. わからない

(その理由)

Q20. 児童厚生員の地域組織支援をテーマにした研修(受講料無料)を秋に東京で開催した場合、貴館から参加することは可能ですか。

1. 是非参加したい 2. 内容を見て検討する
 3. 事業の関係で参加できない 4. 旅費がないので参加できない
 5. 必要性がないので参加しない 6. その他()

Q21. 回答された方の役職等

- ① 役職 1. 館長 2. 職員 3. 児童厚生員 → (保有資格: 1. 保育士 2. 教員資格 3. その他)
- ② 雇用形態 1. 常勤 2. 非常勤

★★★ ご協力ありがとうございました。★★★

★添付の封筒で平成20年3月22日(土)までにご返願ください★